

「スマートフォン時代における安心・安全な利用環境の在り方に関するWG」の設置(案)

背景・目的

- (1) スマートフォンの急速な普及に伴い、利用者情報がインターネット等を通じグローバルに蓄積・流通する場合が増加。利便性が高くニーズの高いサービスの提供が可能となる一方、その実態を利用者が十分に把握することが困難となり、自らのコントロールできる範囲を超えた利用者情報の蓄積・流通・活用への懸念が高まっている
- (2) また、スマートフォンが幅広い利用者に普及する中、通信料金体系や速度表示、セット販売の在り方、電波や端末の品質、契約時の説明等についての苦情・相談が増加しており、様々なアプリ利用に伴う新たな課題への対応も求められるなど、安心・安全な利用環境の整備の必要性が高まっている。

検討事項(現時点での想定)

- (1) スマートフォンにおける利用者情報に関する課題への対応
 - ・ 「スマートフォン利用者情報取扱い指針」に基づく業界団体・事業者による自主的取組推進のフォローアップ
 - ・ 第三者によるアプリ評価検証の在り方等、プライバシーに係る課題解決を支援するための仕組み
 - ・ スマートフォンを中心としたオンライン上の行動ターゲティング広告、アドネットワーク等の発展を踏まえ、「配慮原則」の見直しの必要性について検討
- (2) スマートフォンサービス等の適正な提供の在り方
 - ・ スマートフォンを中心に、通信料金、速度表示、セット販売の在り方、電波や端末の品質、契約時の説明等に関する利用者からの相談事例等も参照しつつ、契約前の広告から契約時、契約後の対応の在り方及び利用者リテラシー向上策について検討
- (3) スマートフォンのアプリ利用における新たな課題への対応
 - ・ コミュニケーションサービス、ソーシャルサービス(SNS等)における青少年利用に関する課題と対応
 - ・ 従来のネット利用における様々な課題(ネット依存、迷惑メール等)のスマートフォン環境下における課題と対応について検討

検討スケジュール

平成24年12月 設置、25年6月目途 最終とりまとめ(予定)